



犯罪のない**安全**な**社会**に向けて 今、企業にできることがある！

防犯CSR活動を始めてみませんか？

ここがポイント！

警察では、事業者等の皆様が防犯CSR活動に取り組みやすいように犯罪情報の提供や活動方法についての助言等を行っています。新たに活動を始める際は、各都道府県警察本部の生活安全企画課か、管轄の警察署の生活安全課へご連絡をお願いいたします。

●都道府県警察本部リンク

<https://www.npa.go.jp/link/prefectural.html>

※各都道府県警察のホームページに、地域の警察署のリンクが貼られています。管轄の警察署を調べる際にお役立てください。

→参考となるサイトはこちら

■警察庁

<https://www.npa.go.jp/>

■全国防犯CSR推進会議

<https://www.safety-nippon.jp/>



発行 公益財団法人 全国防犯協会連合会



公益財団法人 全国防犯協会連合会

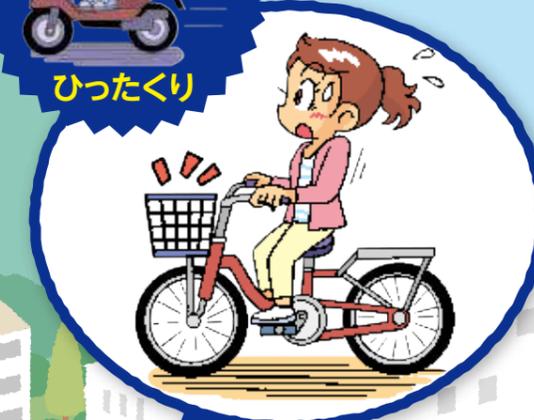
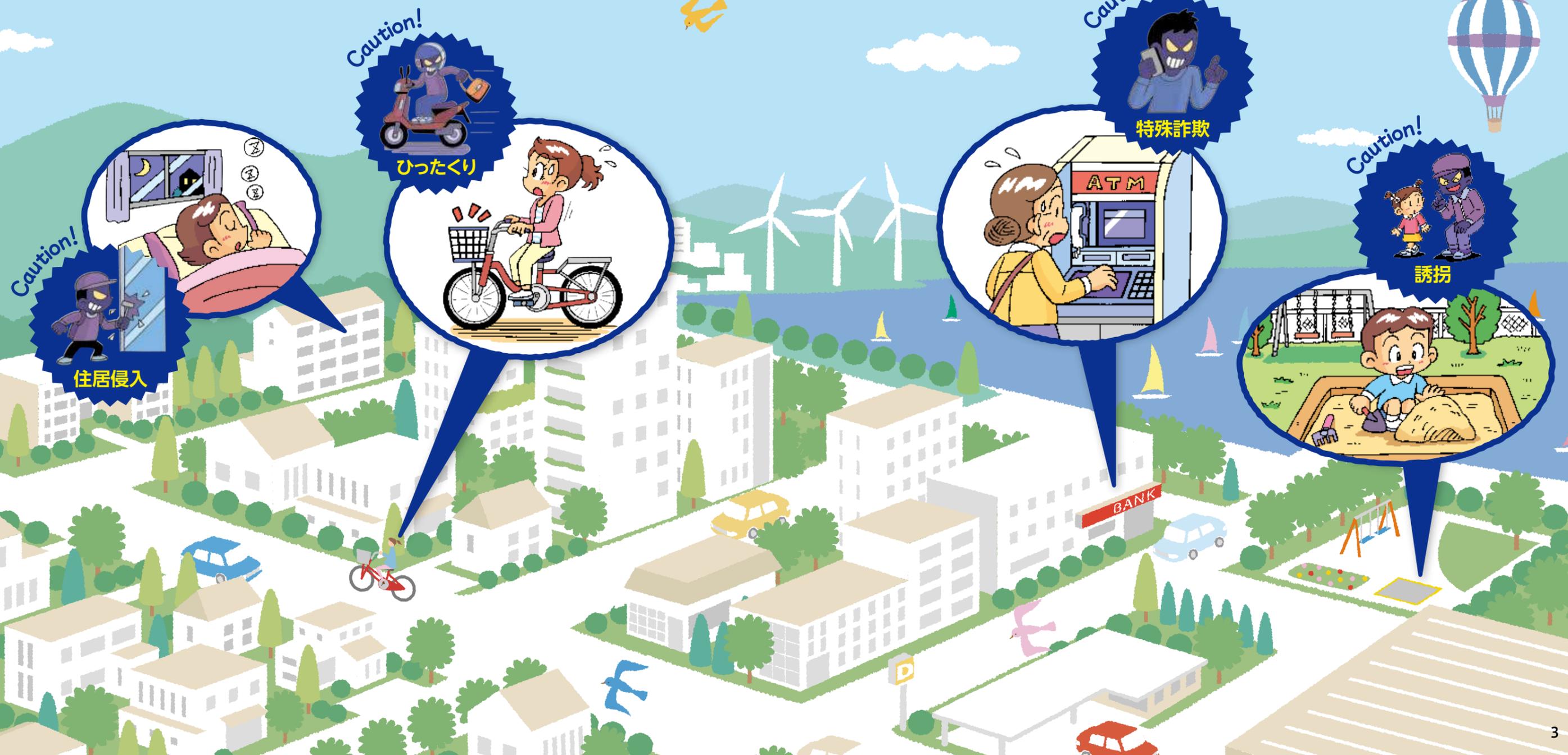
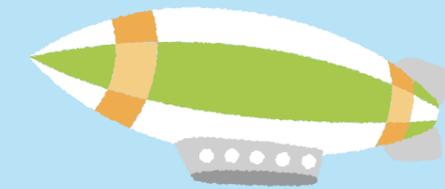
この冊子は、公益財団法人日工組社会安全研究財団の助成により作成したものです

防犯CSR活動は企業と地域の架け橋

誰もが安心して暮らせる社会を実現

私たちが平穏な生活を営むためには、良好な治安の確保が欠かせません。安全な生活基盤を構築するために、官民が連携して取り組む「防犯CSR活動」の推進が期待されています。

企業の善意と努力で街の平和が保たれる!



防犯CSRの基礎知識

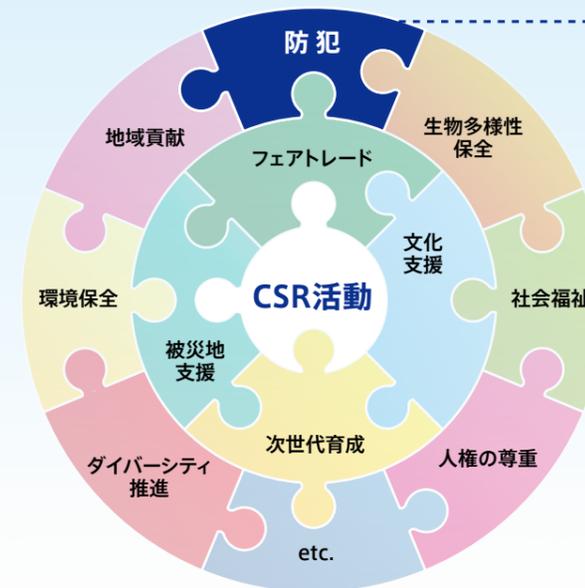
みなさんは、近年頻繁に耳にするようになった「CSR」という言葉をご存じでしょうか。ここではCSRという言葉の意味と、その一角を成す「防犯CSR活動」について解説します。

CSRとは?

Corporate/企業の
Social/社会的
Responsibility/責任

利潤追求のみではなく
社会に対し責任を果たす

CSRは「Corporate Social Responsibility」の略で、「企業の社会的責任」と訳され、環境保全、地域貢献等、純粋に財務的な活動以外の分野において、企業が持続的な発展を目的として行う自主的取組をいいます。



防犯CSR活動

CSRは、環境保全や文化支援、人権の保護といった活動まで多岐にわたり、「防犯CSR活動」はその一部に含まれます。企業が主体的かつ積極的に防犯活動を行うことで、従業員、顧客、取引相手、周辺住民等のステークホルダー（利害関係者）の安全性が高まり、安心感の醸成につながります。

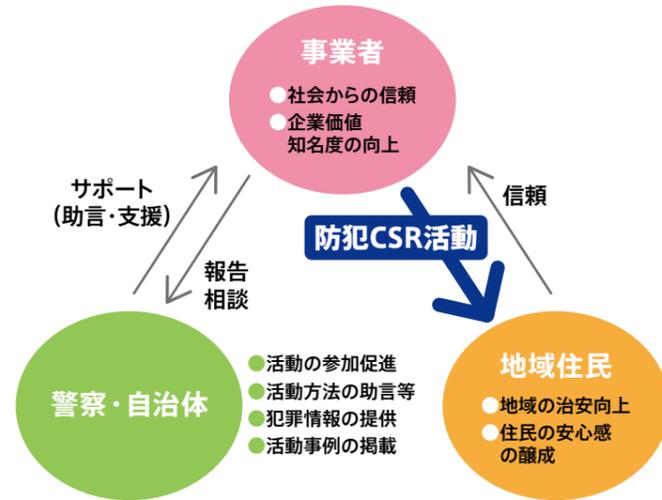


犯罪の起きにくい社会、
安全安心な街づくり

防犯CSR活動とは

CSRという言葉の普及に比例して、徐々に社会へ浸透している「防犯CSR活動」。企業が取組を推進するにあたっては、地域住民や警察との協力関係の構築が必須となります。

防犯CSR活動は、事業者が自ら企画・立案して実施する地域に密着した防犯活動のことです。政府は、2005年策定の「安全・安心なまちづくり全国展開プラン」や、2013年策定の「「世界一安全な日本」創造戦略」に基づき、全国における治安の向上を促進してきました。また、防犯ボランティア活動に対する支援等の充実により、地域における自主的な防犯活動は全国的に広まっており、今後は事業者による自発的な防犯CSR活動に期待が寄せられています。



《警察との協力関係が重要》



防犯CSR活動の目的は地域住民等の安全安心の向上ですが、事業者のみの努力によって成し遂げるのは困難です。犯罪対策のプロである警察の助言を受け、自分たちにできることをじっくりと考えてから活動を始めましょう。また、防犯活動に取り組む地域住民やボランティアとも協力体制を築き、随時情報を共有することも重要です。防犯ネットワークの整備と活用によって、犯罪対策はより推進されます。

事業者の防犯活動をバックアップ

警察は、防犯CSR活動に取り組む事業者がより活動しやすくなるよう、犯罪情報の提供や活動方法に関する助言などの支援を行っています。

▶ 犯罪情報の提供

広報啓発活動や地域住民の見守りに役立つ犯罪の発生情報を、各地域の事業者へ提供。

▶ 活動方法の助言

防犯カメラの設置場所や録画映像の管理方法などについて、必要な助言・指導を実施。

▶ 活動事例の紹介

都道府県警察署のホームページにて、各地域の事業者の活動事例を掲載して広く周知。

など

企業の活動例

おもな活動として、防犯パトロールや児童の見守りをする「直接活動」。チラシの作成・配布などに関わる「情報

発信」。防犯グッズの寄贈などをする「支援活動」。環境美化活動などに関わる「環境整備」などがあります。

直接活動

- * 防犯パトロール
- * 児童の見守り

通学路における児童の見守り活動、防犯パトロール、防犯カメラの設置への協力 など



情報発信

- * チラシの配布
- * 標語の掲載

防犯に関する広報啓発チラシの作成・配布、自社商品への防犯標語の記載など



支援活動

- * 防犯ボランティア団体への寄附・寄贈

防犯団体への活動時に着用するベスト等の寄贈、防犯団体に対する自社サービスの割引 など



環境整備

- * 従業員への研修・教育
- * 環境美化活動

従業員への教育・研修による防犯意識の向上、落書き消し等の環境美化活動 など



活動の注意事項

防犯CSR活動を行う際は、自分たちにできることを無理のない範囲でコツコツと続けることが大切です。下記のような点に留意して活動に取り組みましょう。

安全第一

従業員のみなさんの安全を最優先してください。犯罪に巻き込まれたり、事故を起こしたりすることのないよう、無理のない範囲で活動しましょう。

継続は力なり

活動の成果は、すぐに現れるものではありません。地道な活動を継続することで地域の規範意識が向上し、犯罪の起きにくい社会が形成されていきます。

事業活動の延長でできる防犯CSR活動に「ながら見守り」活動があります。

「ながら見守り」活動

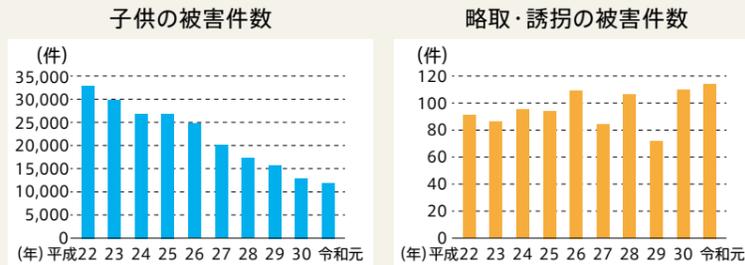
ウォーキング、ジョギング、買物、犬の散歩、花の水やり等の日常活動を行う際、防犯の視点を持って見守りを行う活動をいいます。事業活動では、配達や営業、現場への移動等に行う例があげられます。



Column

【子どもの犯罪被害の現状】

13歳未満の子どもが被害者となった刑法犯の認知件数は、平成22年の3万2897件から減少し、令和元年には1万1885件になりました。更に抑止するためには、ボランティア等による防犯活動に加えて、企業等のCSR活動が必要です。



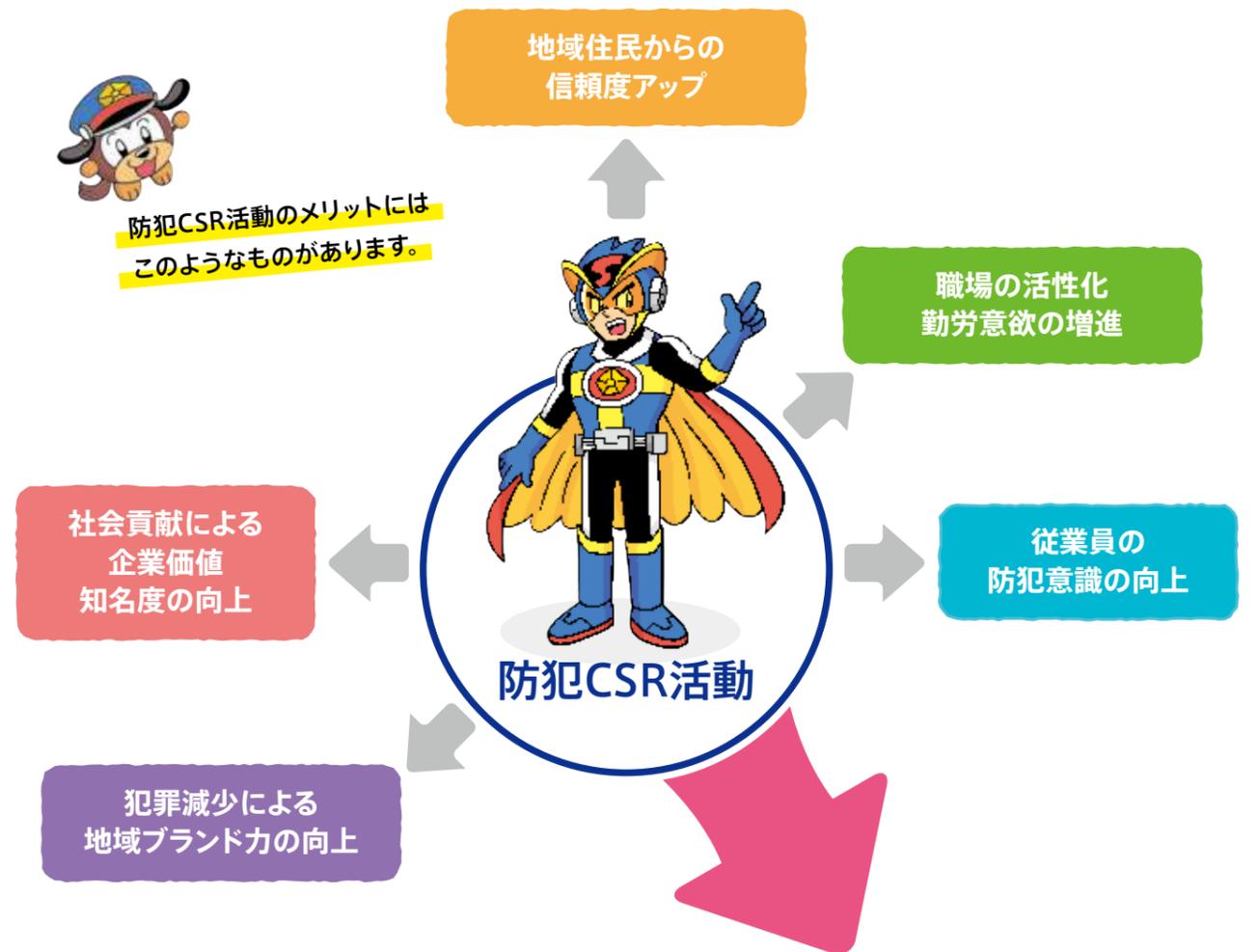
■ 子供（13歳未満）の被害件数及び罪種別被害状況の推移（平成22～令和元年）

区分	年次	平成22	23	24	25	26	27	28	29	30	令和元
子供の被害件数(件)		32,897	29,784	26,791	26,783	24,707	20,106	17,252	15,721	12,947	11,885
殺人		77	76	67	68	83	82	74	65	57	77
強盗		7	14	11	9	6	3	4	6	4	5
強制性交等		55	65	76	69	77	64	69	91	151	173
暴行		707	710	846	882	858	886	906	852	958	1,044
傷害		467	493	495	548	539	557	631	613	714	962
強制わいせつ		1,070	1,027	1,066	1,116	1,095	881	893	953	773	731
公然わいせつ		109	83	139	136	133	140	109	91	71	72
逮捕・監禁		9	7	7	9	12	10	21	10	9	11
略取・誘拐		91	86	95	94	109	84	106	72	110	114

出典：令和2年版 警察白書

活動による企業のメリット

防犯CSR活動をすることにより、事業者にも多くのメリットをもたらします。



防犯CSR活動のメリットにはこのようなものがあります。



企業のイメージアップ!

全国的に広まりを見せつつある防犯CSR活動。自主的に防犯活動を行うことで、地域社会からの信頼度の向上が期待されます。また、顧客、従業員、地域住民の安心感の醸成にも貢献できます。事業者が社会的責任を果たすことは、企業のイメージアップにつながるでしょう。

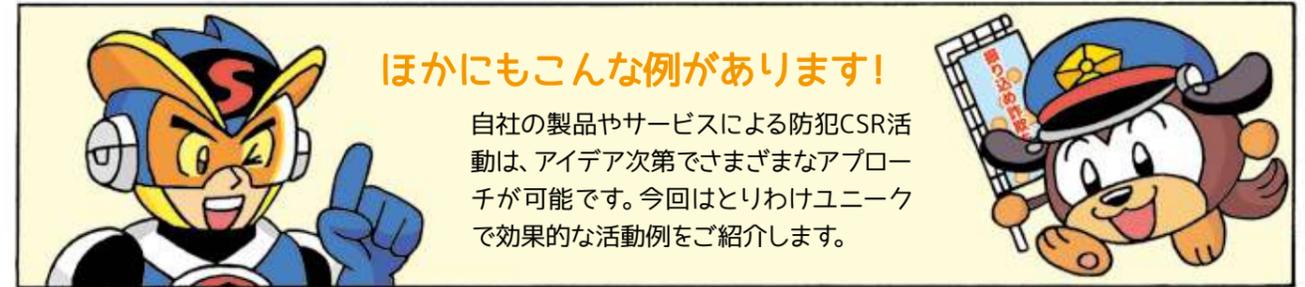
無理のない範囲で、できることから始めてみませんか!

製品やサービスで地域の防犯意識が向上

防犯に関する標語や呼びかけなどを掲載した自社製品の販売・サービスにより、広報啓発を行う活動です。たとえば、飲食物のパッケージに犯罪を防ぐためのさ

まざまなメッセージを記載することで、製品を目にする多くの人に防犯情報を周知することができます。

宮崎県 宮崎県農協果汁(株)



北海道 よつ葉乳業(株)



山形県 (株)ト一屋(といちや)



福島県 (株)ダスキン



高知県 (有)野村煎豆加工店



従業員による防犯パトロールや「ながら見守り」活動

犯罪を未然に防ぐため、青色回転灯を装備した自動車によるパトロール、徒歩による地域の見守り等を行

う活動です。営業車・配達車の運行中における「ながら見守り」活動に取り組む企業もあります。

茨城県 日野自動車(株) 古河工場

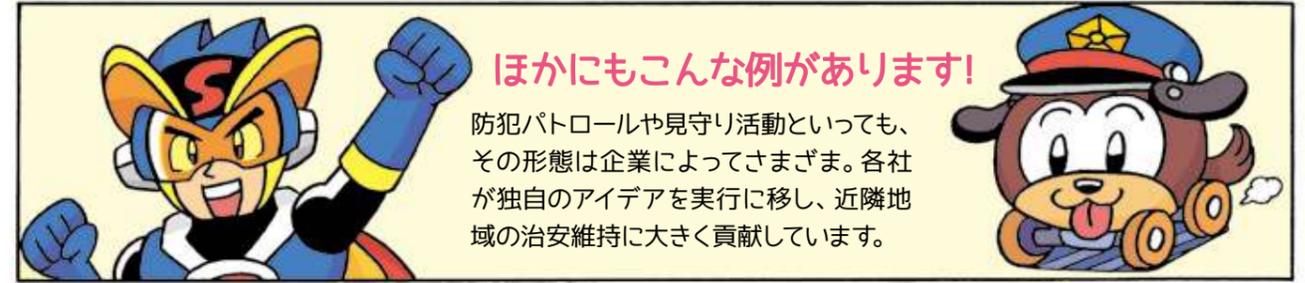
防犯パトロール見学のため日野自動車の古河工場にやってきました



※「スーパードルフィン」は日野自動車の大型トラックが由来



※児童を見守ります!



山形県 第一生命保険(株) 山形支社 新酒田・酒田東営業オフィス



地域安全見守り隊を結成

地域安全見守り隊を結成し、営業車にマグネットステッカーを貼り付けて地域の見守りを実施。事件発生時にはドライブレコーダーの記録等を警察に提供しています。



埼玉県 武州ガス(株)



勤務終了後に周辺をパトロール

平日の勤務終了後、事業所周辺の防犯パトロールを継続して実施。従事する社員は「防犯パトロール」等が記載されたベストを着用し、近隣住民の安全安心に寄与しています。



静岡県 (株)江崎新聞店



新聞配達時の見守り活動を実施

オートバイを利用する新聞配達員が、ドライブレコーダー付きのヘルメットを着用し「ながら見守り」活動を実施しています。



兵庫県 播州農機販売(株)



社用車で「ながら見守り」を実施

社用車に「ながら見守り実施中」と記載されたステッカーを貼り付けて運行し、営業活動中も「ながら見守り」を実施しています。



後方支援で青色防犯パトロールに寄与

警察から認可を受け、青色回転灯を装備する防犯活動用車両（青パト）によって実施される青色防犯パトロール。その活動はあくまで自主的なもののため、車

両維持費などのさまざまなコストがかかります。車両の無料点検やカー用品の割引販売などを行うことは、青色防犯パトロールの支援につながります。



※できることから協力！

特殊詐欺を防ぐ電話機器対策をサポート

おもに高齢者をターゲットにする電話を使った特殊詐欺の被害額は、2012年から8年連続で300億円超えとなっています。パナソニックコンシューマーマーケ

ティング(株)LE中部社 (PCMC) の取引先の家電専門販売店による顧客が使用する電話機器への具体的な防犯指導は、特殊詐欺被害防止に極めて有効です。



※留守電なら犯人と話さず録音も可能！



犯罪防止に役立つ防犯グッズを提供

防犯に関する物品の提供を行う活動です。活動時に着用する防犯ベストや防犯グッズ、防犯情報記載のポスター・チラシに加え、(有)アド・フューチャーの防犯絵本

のようにアイデアに優れたアイテムを贈呈する企業もあります。

愛知県 (有)アド・フューチャー

アド・フューチャーさんでは子育て情報誌の発行やウェブ制作等を行っています

防犯絵本を制作しているそうですね

はい! タイトルは「BO-KEN あいち」で愛知県警に監修をお願いしています

※楽しく読んで防犯を学習

想定読者は小学1~3年生で県内全小学校の約21万人に配布しました

犯罪に巻き込まれないための安全対策についてイラストを交えて伝えています

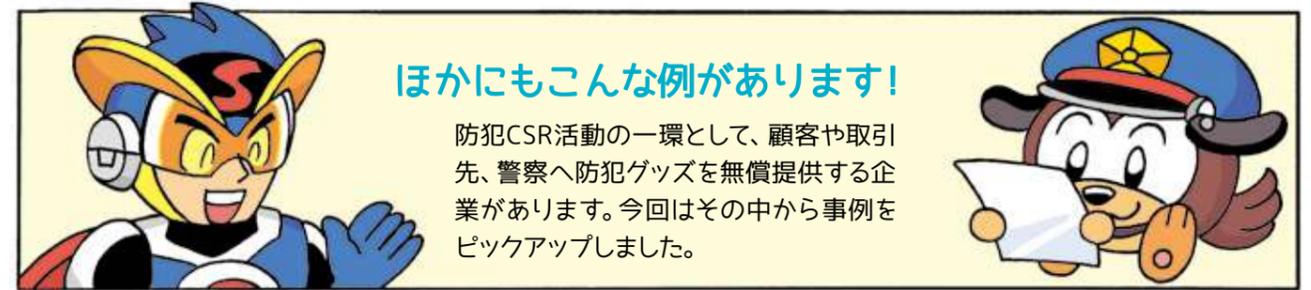
おもな学習項目は...

あやしい人の見分け方

- きっぱり断る
- 大声を出す
- 走って逃げる
- あきらめずに抵抗する

絵本を防犯に役立つ発想力に脱帽です!

※わかりやすい!



ほかにもこんな例があります!

防犯CSR活動の一環として、顧客や取引先、警察へ防犯グッズを無償提供する企業があります。今回はその中から事例をピックアップしました。

宮城県 セキスイハイム東北(株)



タレント起用の防犯ポスター贈呈

お笑いコンビ「駆け抜けて軽トラ」の餅田コシヒカリさんを起用した特殊詐欺被害防止の広報用ポスター(1,000枚)とチラシ(10,000枚)を、宮城県警察に贈呈しました。



新潟県 (株)ブルボン



活動にちなんだお菓子を提供

「プチ防犯始めませんか!」のキャッチフレーズで防犯活動を行う柏崎警察署に対し、「プチ防犯」にちなんで、お菓子の「プチシリーズ」の提供を行い、地域の防犯活動に協力しています。



愛知県 トヨタカローラ中京(株)



盗難防止ネジを無料取り付け

県内23店舗において、新車を購入された希望者に対してナンバープレート盗難防止ネジの無料取り付けを実施。現在までに、1,000台弱に取り付けを行いました。



山口県 山口ヤクルト販売(株)



訪問販売の際に防犯チラシを配布

特殊詐欺をはじめとする各種防犯情報を記載した商品紹介チラシを作成。訪問販売の際にチラシを配布するほか、各種犯罪被害防止の声かけを行っています。



普段のランニング中に地域を見守る

ランニングパトロールとは、市民ランナーが街中を走りながらあいさつする等して地域を見守る活動です。
 (株)アシックスと(株)神戸新聞社は、ひょうごふれあいラ

ンニングパトロール用のTシャツを提供する、あるいは新聞の紙面で情報発信することでランニングパトロールの支援を行っています。

兵庫県 (株)アシックス & (株)神戸新聞社



※ふれパトは令和3年からNPO法人への移行を目指しており、支援のあり方が変わる予定です。

防犯CSR活動の推進について



全国防犯CSR推進会議 会長 吉清 和芳
 (パナソニックコンシューマーマーケティング株式会社 代表取締役社長)

これまで経済3団体の指針によって企業の社会的貢献(CSR)活動への取り組みが推奨され、特に大企業を中心としてCSRレポートなどで活動実績を開示してきました。そのような中、2015年ニューヨーク国連本部においてSDGs(持続可能な開発目標)が採択され169もの具体的な目標が設定されたことを契機にCSRを含めたSDGsへの取り組みが加速しています。

全国防犯CSR推進会議は、私たちの生活基盤である地域防犯の拡充を目的として2015年4月に発足しました。全国防犯CSR推進会議の活動は従来の防犯協会などによる統合的、総括的なそれとは異なり、それぞれの企業や事業者らが本来の事業活動を通じて防犯関連活動を促進することで持続可能な街づくりの一環として、犯罪の抑止・撲滅を目指すものです。

おかげ様でこれまでに全国各地の企業から660件を超える防犯CSR推進宣言がなされ、各社の独創性に富んだ活動が地域からの信頼を獲得しています。

防犯CSR推進宣言とは、各企業や事業者らが自らの意思を持って宣言するものであり、自社の事業活動がいかに地域社会に根差し、安全安心に寄与しているかを見直すきっかけにもなっています。

当会活動のひとつとして防犯CSRセミナーを主催し「防犯CSR実践企業表彰」および「防犯CSRマイスター表彰」を行っています。受賞企業らの防犯CSR活動事例として(株)イエローハットは青色防犯パトロール隊の自動車の保守メンテナンスや車検時の割引を実施。パナソニックの街のでんきやさん、東電タウンランニング(株)、東京都新聞販売同業組合などでは、業務中の「ながら見守り」やお客様の自宅訪問時の声掛けなどの直接的見守り活動を行うなど、各社の事業に直結した防犯CSR活動によって顧客や地域からも好評を得ています。

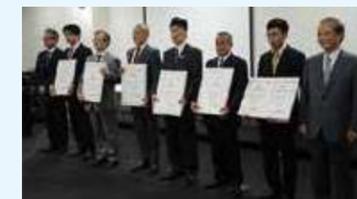
このように、地域の安全と安心を醸成するには警察やプロの警備保障会社のみならず、地域を構成するすべての利害関係者、つまり住民や事業者、行政を含むすべてのステークホルダーが個別に、あるいは連携して防犯活動に参加することが重要です。特に企業においては自社の事業活動を通じて実践できれば望ましい限りです。

当会が推進する防犯CSR活動はコーポレートガバナンスやコンプライアンスを実施するためのひとつの視座となり、またSDGs持続可能な社会に向けた試金石となれば幸いです。

全国防犯CSR推進会議とは

SDGsやESG経営(環境や社会、ガバナンスを重視した経営)の一環でもある防犯CSR活動は「住み続けられる街づくり」に貢献しているとして当会で最初に発足した愛知部会が県知事より感謝状をいただくなど高く評価されています。全国防犯CSR推進会議は今後も安全安心な地域社会の実現に向けて、防犯CSR活動の普及拡大に取り組んでまいります。

全国防犯CSR推進会議のHPはこちら



防犯CSRセミナーと防犯CSR実践企業表彰の様子